

2016全日本綱引選手権大会注意事項

本大会は、2016全日本綱引選手権大会実施要項及び日本綱引連盟競技規則・公式役員規程に基づき実施するが、この注意事項についても遵守のこと。また、前日実施される特別予選会においても、この注意事項が適用される。

1 選手受付及び代表者会議

出場チームにはこの注意事項とともに、メンバーリストならびに保護着衣等使用承認証を送付するので、計量を受けるまでに必要事項を記入しておくこと。

特別予選会受付・計量・チーム練習 3月5日(土) 13:30～14:45(アリーナ)

特別予選会 3月5日(土) 15:00～16:30(アリーナ)

チーム代表者会議 3月5日(土) 16:30～17:00(アリーナ)

*代表者会議では、審判長、関係部署からルールや会場内での諸注意を説明します。
必ず出席して下さい。代表者が出られない場合は、代理出席を認めます。

2 競技方法

(1) 特別予選会(男子のみ)

- ① リーグ戦方式で1セットマッチとし、上位該当8チームが本大会に進出する。
- ② プラカードは使用する。
- ③ トレーナーのみシューズカバー等の片付けのため入場は可(試合中は主審の指示する場所に移動)、交代選手は入場しないものとする。
- ④ 終了後直ちに本大会出場8チームの予選リーグ、ブロック枠の抽選を行なう。
- ⑤ 本大会出場チームは本大会出場時も計量を受けなければならない。

(2) 本大会予選リーグ

- ① 男子8ブロック、女子4ブロックのリーグ戦方式で1セットマッチとし、男子は各ブロック上位2チーム、女子は各ブロック上位4チームが決勝トーナメントに進出する。なお、5レーンを使用する。
- ② 順位が同率の場合、順位決定は次の順番で行なう。
 - 1) 直接対決で勝ったチーム
 - 2) コーション数の少ないチーム(ノープル時のコーション数を加算する)
 - 3) エントリー選手全員の平均体重が軽いチーム
 - 4) 抽選による

(3) 決勝トーナメント

- ① 1回戦・2回戦は4レーン、準決勝・決勝は1レーンで実施する。
- ② すべて3セットマッチとする。
- ③ 3位決定戦は実施しない。

(4) その他

- ① 予選リーグでは、いかなるサービスも受けられないので、プラカード以外の持込みを禁止する。ただし、貴重品の一括管理による持込みは認める。
- ② 決勝トーナメントで3セット目となった場合、主審の宣告した休憩時間内にサービスを受けることができる。その範囲は水分補給、タオルの使用、靴底の清掃とする。(炭酸マグネシウムの使用は不可)
- ③ 選手控席からのビデオ及び写真撮影は禁止する。

3 監督

- ① 監督はチーム編成、選手交代及びチームのすべてを管理し、試合中は競技エリアの外側で、審判員の判定に支障のない位置から選手に指図することができる。
- ② 監督が選手として出場する場合は監督代理を立てることができる。
- ③ 選手交代にあたっては、監督から主審に申し出ること。また、クラス体重の確認は監督に責任があるので十分に注意のこと。

4 服装

- ① ショートパンツの下に、タイツ、またはスパッツ類の着用は可とする。
- ② ユニフォームの素材は布製としなければならない。また、ユニフォームの補修は必要最小限度とし、かつ裏側からとする。
- ③ 選手のユニフォームについては、同系色のもので揃えること。
- ④ バンダナ、ヘッドギアを着用する場合は、チーム全員が着用して揃えること。
- ⑤ ユニフォームはショートパンツの中に必ず入れること。

5 保護着衣等

(1) 保護着衣

- ① 保護着衣の使用はアンカーのみ認められるが、保護着衣等使用承認証に必要事項を記入し、計量責任者の承認を受けること。
- ② アンカーの保護着衣は傷害防止を目的に厚さ5.0cmまで許される。
- ③ 保護着衣の使用にあたっては、ユニフォームの下に着用する。
- ④ 承認された保護着衣以外の物をつけての出場が確認された場合、その選手は失格とする。
- ⑤ プラーのプロテクター着用は禁止する。

(2) 保護ベルト

- ① 保護ベルトの使用は、腰部の保護を目的とする場合のみ許される。
- ② 保護ベルトはユニフォームの上から着用するとともに、ベルトに緩みがなく、かつバックルがロープ側でないこと。
- ③ 保護ベルトの目的外使用は、取り外しが指示される。

6 医療措置

- ① 絆創膏、テーピングテープ類の使用については、必要最小限の方法で許される。
(保護着衣等使用承認証対象外とする)。
- ② 腰のコルセット及びアンカーの肋骨保護器具等の使用にあたっては、保護着衣等使用承認証に必要事項を記入し、計量責任者の承認を受けること。
- ③ サポーター及びリストバンド等の使用にあたっては届けの必要はないが、目的外使用は取り外しが指示される。

7 シューズ

- ① シューズ・クリーナーの使用は、靴底の清掃を目的とする場合にのみ許される。以下の3点のみ使用可とし、それ以外のものの使用が発覚した場合は、危険行為とみなし不戦敗とする。
アシックス(6014T)、ミズノ(9ZA-860)、ミカサ(MST-300)
- ② 決勝トーナメント3セット目の休憩時間内において、靴底の清掃が必要な場合にシューズ・クリーナーの使用が認められる。使用の場所等は主審の指示に従うこと。

8 滑り止め

- ① 主催者が準備する炭酸マグネシウムのみを使用を認める。その他の薬品類を使用することは、一切認めない。
- ② 炭酸マグネシウムはスタンバイ席に設けられたCMステーションで付けること。
- ③ 滑り止めの有無の確認を審判員に求められた場合、すみやかに応じること。
- ④ 2セット目、3セット目の開始前に再度使用することは認められない。

9 ヘルメット

ヘルメットの使用は任意とし、使用する場合は持参すること。

10 計量

- ① 計量時の服装は、ショーツ等下着のみは認めない。必ず、ショーツパンツ、またスパッツで計量を受けること。
- ② 計量は通告されている計量時間内で終了すること。
特別予選会 3月5日(土) 13:30 ~ 14:45 アリーナ内Rサイド計量所
本大会 3月6日(日) 7:30 ~ 8:40 男子 アリーナ
女子 アリーナ
- ③ 男女それぞれ、指定された計量所で受けること。
- ④ 計量にあたっては、必ず『競技者登録証』を提示すること。
- ⑤ 計量時に、保護着衣、保護ベルト及び医療措置器具等を持参し、チェックを受けること。保護ベルトには、計量担当者がチェックしたことを証する印を付ける。また、保護着衣及び医療措置器具等は、事前に『保護着衣等使用承認証』に必要事項を記入し承認を受けること。

11 メンバーリスト

- ① メンバーリストは、3枚複写(ピンク、イエロー、ホワイト)になっており、必要事項を記入してから計量を受けること。
- ② ホワイトはゲームエントリー記録用紙である。計量後、必ず受け取ること。
- ③ 記録用紙の記入は、出場しない選手欄に"×"印を付けること。
- ④ チーム監督は出場全試合の終了後、プラカードとともに画板、ボールペンを指定した場所に返却すること。ホワイトの記録用紙も返却すること。

12 保護着衣等使用承認証

- ① 保護着衣等使用承認証(1部)は、必要事項を記入してから計量を受けること。
- ② 承認証の対象は、アンカーの保護着衣、保護ベルト及び医療措置器具とし、その他の軽微なものは対象としない。
- ③ 計量時間内に計量責任者のチェックを受け、事前チェック終了後は承認証を受け取り、メンバーリストの記録用紙とともに所持すること。

13 競技会

(1) スタンバイ

- ① スタンバイ席を設けるので、事前に確認のこと。準決勝・決勝は別途指示する。
- ② 各チームは出場試合の3試合前までにスタンバイ席で待機すること。常に試合進行状況に注意し、試合進行に協力のこと。放送による呼び出しは行わない。
間に合わないチームは、棄権と見なすので十分注意すること。
- ③ 予選リーグは、競技進行予定表の左がLサイドとなり、右がRサイドとなる。
- ④ 決勝トーナメントは、トーナメント表の左がLサイドとなり、右がRサイドとなる。

(2) 入場・退場

- ① 入場は駆け足入場とする。
- ② 退場は主審の指示により、入場と反対側のサイドへ退場する。

(3) ポジションの変更

- ① 主審の「礼」の号令まで、自由に変更できる。
- ② 2セットマッチ以降にあつては、主審の「サイド交代」の号令までは自由に変更できる。

(4) レーン清掃

- ① レーンの清掃はレーン管理係員によって行われる。
- ② 3セットマッチにおいて、セット間の清掃が必要な場合は、主審に告げること。
- ③ チームによるレーン清掃は、一切認めない。

(5) 選手交代

- ① 監督から主審に申し出ることにより選手交代が認められる。
- ② 2セット目の選手交代は、速やかに申し出ること。主審の「サイド交代」の号令後の交代は一切認めない。
- ③ 3セット目の選手交代は、主審の休憩時間を宣告した時点から「サイド交代」の号令までに完了していること。

(6) 抗議

- ① 勝敗に関する異議申立ては、一切受け付けない。
- ② 監督は競技に関して疑義、または不服がある場合は文書で競技委員長に提出できる。

14 ウォーミング・アップ

- ① 前日は、特別予選会終了後から17:30 までアリーナでウォーミング・アップすることができる。
- ② 当日は、7:30～8:30 までアリーナでウォーミング・アップすることができるが、終了時間を厳守のこと。また、計量を優先するため、Eレーンが使用できないこともある。なお、体育館ロビー・通路等でのウォーミング・アップは禁止。

15 開会式

午前9時から開会式を行う。監督会議の際に整列順を記したものを配布するので、8時45分までに指定の位置に整列のこと。

以 上

会場使用上の注意事項

(1) 選手席

- ① 選手席は都道府県単位で指定されているので、指定以外の場所を使用しないこと。
- ② 1階正面玄関から階段を下りたエントランスホールは共用スペースです。選手および観客は、ここを占有スペースとして、荷物等を置いて休憩や食事はとらないこと。
- ③ 一般・応援団の入場は選手入場後とするので、選手は応援団等の座席を事前に確保しないこと。事前に確保した場合は、その荷物等が撤去されるので注意すること。
- ④ 競技アリーナへのチーム登録メンバー以外の者の立ち入りを禁止する。
- ⑤ 入退場口で立ち止まったり、物を置かないこと。

(2) 開会式

- ① 開会式は、午前9時から開始。
- ② 出場全選手は、ウォーミング・アップ等をやめ午前8時45分までに指定された場所に集合・整列すること。
- ③ 開会式にタオル等を頭に巻いて参加しないこと。

(3) 更衣・荷物の管理

- ① 日本綱引連盟が指定する宅配業者を通して、荷物の事前発送を依頼しているチームを除き、荷物を大会会場(駒沢オリンピック公園総合運動場体育館)に送らないこと。
- ② 選手更衣室のロッカーは利用できる。
- ③ 貴重品、荷物の保管管理は、各チームが責任を持って行なうこと。

(4) 応急処置

- ① 負傷等が発生した場合は、主催者側で応急手当を行なうが、その後の処置はチーム、または個人の責任において対応すること。
- ② 出場全選手を対象に傷害保険に加入する。傷害等が発生した場合は救護へ申し出ること。

(5) 応援・垂れ幕

- ① 応援は観客席で行い、ホイッスルの使用は禁止する。
- ② 垂れ幕・幟等の使用は、他の観客の迷惑とならないように注意すること。
- ③ 垂れ幕・幟等に企業名や商品名が表示されているものは有料広告扱いとなるので使用禁止。
- ④ 垂れ幕・幟等を壁・柱・手すり等に針金、ガムテープ等で固定することは厳禁。また、施設等に損傷を与えた場合は修復費用を請求する。
- ⑤ 決勝トーナメントの3位決定戦以降、主審のピック・アップ・ザ・ロープの号令からプルの号令まで、鳴り物を使っての応援や掛け声を発したりすることを禁止する。

(6) 写真・VTR撮影

- ① 競技アリーナ内は、許可された者以外の立ち入りを禁止。また、指定された場所以外での撮影はできない。
- ② 館内でのストロボ撮影はすべて禁止。

(7) プラカード

- ① プラカードは開会式および競技中は、各チームの管理により使用する。
- ② 出場全試合が終了したチームは、プラカードと記録用紙を指定場所に返すこと。

(8) ゴミ処理

- ① ゴミは、各チームで持ち帰ること。
- ② 弁当殻は、必ず依頼業者に引き取ってもらうこと。弁当を持ち込んだ場合は持ち帰ること。チームの応援団も同様。

(9) 開場

- ① アリーナの開場は、午前7時15分であり、入場は1階正面玄関を利用すること。ただし、選手のみ
の入場とする。
- ② 一般・応援団の入場は、午前8時15分から、1階正面玄関とする。

(10) 喫煙について

駒沢体育館は全館禁煙です。喫煙する場合は、体育館の外で各自携帯灰皿を使用すること。尚、
今大会より特設の喫煙所は設けません。

また、開場待ちで並んでいる時に、たばこの吸い殻やゴミを絶対路上に捨てないこと。携帯灰
皿を使用すること。ドリンクの缶等を灰皿替わりにしないこと。

(例年、会場入口近辺における吸い殻の散乱状態について、会場側から注意を受けています。
綱引競技に関わる仲間たちの名誉のためにも喫煙マナーを守って下さい。)

(11) 館内での飲酒禁止

館内のカフェテリア以外でのアルコール飲酒は禁止とする。

(12) 大型バス・マイクロバスの駐車について

事前に「バス駐車場利用申込書」を提出し許可を受けたチームは駐車出来ます。但し、当日駐車
場が空いている場合は、駐車できますが割引料金の適用はありません。

(13) その他

- ① アリーナ内での飲食は厳禁。指示に従わない場合は、退去処分とする。
- ② 非常口付近に荷物を置いたり、更衣・食事をしたりすることは厳禁。非常口付近は常に開放して
おくこと。

以 上